

令和3年度 第1回 宇城市在宅医療・介護連携推進研修会 「みんなの力で災害を乗り越える～災害時の連携を考える」

15:00～ □開会挨拶 宇城市 健康福祉部 高齢介護課 課長 星津 章博

1 部 ■宇城市避難行動要支援者避難指示計画について
宇城市 健康福祉部 社会福祉課 地域福祉係 寺田 宜正 主査

■令和2年度台風10号上陸時における居宅介護支援部会アンケート報告
宇城市地域包括支援センター

2部 ■グループワーク・発表

16:00 □閉会挨拶 宇城市地域包括支援センター センター長 谷 美鈴

宇城市介護保険サービス従事者連絡協議会 居宅介護支援専門員部会アンケート調査

■実施時期:令和2年11月実施

■対象:宇城市内居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)
22箇所

■内容:令和2年、台風10号接近時の利用者への避難対応の
状況や課題を訊ねた

質問1 令和2年台風10号接近時の利用者避難について感じた事や
対応に困った事を教えてください

①個人課題(要因)

②避難先での
環境、対応課題

③地域課題

④制度/情報の課題

①個人課題(要因)～避難に際して支援が難しいと感じる事～

■独居

■家族が遠方

■移動手段がない

■認知症(大声、不穏、徘徊・・・)

■ALS/人口呼吸器装・・・医療依存度が高い方

■車いす利用 ■おむつ交換必要

■避難すること事態が負担

(身体的にも精神的にも)

②避難先での環境、対応課題

- 避難所開設の時間帯と避難のタイミングが合わない
- いっぱいに入れなかった→別の避難所案内
- 防災センターへ避難したが滞在中の介護支援者がいない事で利用できなかった
- 密→コロナへの不安、プライバシー、暑い寒い・・・等
- 設備（椅子、トイレ、ポータブルトイレ、ベッド等の有無）

③地域課題

■地域、各地区での対応状況がわからない
→近隣の方の声かけ、安否確認の有無
送迎等のサポートの有無
要援護者台帳の登録者への支援体制は？



地域ともっと連携して、避難支援ができれば・・・



災害支援とケアマネジメント業務とのつながり重要

④制度/情報の課題

- ショートステイ/小規模(泊り)の受け入れ枠がいっぱい
- 公的サービスがなく自費利用せざるえない状況
- 受け入れ施設の負担(人・物等)がある
- 各施設の対応している情報がわからない
- 避難に関する問い合わせ対応が負担
- 情報収集の手段が個人レベル
- 情報の一元化、発信があれば...



質問2 介護保険サービス以外で活用したサービス、社会資源はありますか？

■ 家族、親族宅

■ 特別養護老人ホームの災害時一時避難事業

■ 防災センター ■ 体育館

■ 病院への入院 ■ 法人施設の共有スペース

■ 有料老人ホームの空き部屋利用

■ 旅館/ビジネスホテル

■ 地域の方、民生委員への声かけ、連絡依頼

質問3 避難時対応として提案できる事がありますか？

- 高齢者・障害者優先の配慮
 - 避難者に応じた避難場所の確保
 - 専門スタッフの配置
 - 設備（トイレ、簡易ベッド等の数）
 - 避難時の送迎サービス
 - 防災センター利用のマニュアルを作ってほしい
 - ショートステイ/小規模泊り枠の制限緩和
-
- デイ（使い慣れた施設）の一時受け入れ
 - 災害時のショートステイの優先度などの受け入れ指針



■既存にとらわれない避難場所の確保、

例)学校、民間の施設等...

JA炊き出し、発電機(実際は使用していない)

■避難受け入れの有無などタイムリーな避難情報の発信ツール

(避難場所の一覧、料金、受け入れ人数など、設備、避難時に必要な物)

■事前の備え

個人レベル: 避難の意向の確認

避難時持ち出し物品(内服等)の準備

事業所レベル(ケアマネ): 声かけ及び避難者リストの作成と活用

利用できる情報・資源収集 地域との連携

地域レベル: 要援護者等の把握と地域の支援体制の作り

グループワーク 約20分

■5グループに分かれます

「ワークテーマ」

災害に備えて、専門職として、事業所として
患者、利用者に行っている事がありますか？



本研修会のグループワークの目的

★多職種で意見交換し、顔の見える関係をつくる！！

★グループワークのルール

- ・何か結論を出すものではありません。
自由な発想と発言を！
- ・他者に対して否定的な発言はしない。
- ・一人一言は発言してみよう。思い浮かばない場合は感想、質問でも可。最低、所属と名前をアピール。

お疲れさまでした。

アンケートのご協力お願いいたします。

